

令和5年10月1日
今週のベストショット



青松園A 奈多フェニックス 対 奈多サンデーズ戦

プレーオフ進出を賭けての大事な一戦で大仕事をやってのけたフェニックス一番望月選手。

写真：ブルーマーリンズ 江頭 秀一

青松園B 11安打16得点で三苦三球会が快勝！

三苦三球会 (7勝2敗) 6730 16 鮎川○ー藤澤(隆)
ソルトベイスターズ(2勝5敗2分) 0020 2 江良●、酒井ー山ノ川

HR：浜口(三球会) 吉田、井浦(ソルト) 2BH：鮎川(三球会)

盗塁：船橋、岩本、鮎川(三球会)、吉田、中村(建)(ソルト)

三苦三球会鮎川投手、ソルトベイスターズ江良投手の先発で試合開始。一回表三球会は制球の定まらない江良投手を攻める。一番船橋(純)選手が四球で出塁し二番岩本選手の中堅前ヒット、さらに三番鮎川選手、四番大津選手が四球で続き、五番藤澤(隆)選手は内野安打、貯まったランナーを六番主将の浜口選手がレフトにライナー性の痛烈な満塁ホームランを放ち一気に6点を先取する。三球会は二回途中から交代したソルトベイスターズ酒井投手からも四球に安打を重ねて猛攻を見せる。二番岩本選手、五番藤澤(隆)選手、九番塚(達)選手のシングルヒットと三番鮎川選手の左翼への二塁打で計7点を奪取。三回表にも六番浜口選手、九番代打の橋口選手、一番船橋(純)選手、二番岩本選手が安打を放ち3点追加。取り返したいソルトベイスターズは、三回裏に二番吉田選手が右翼を抜くホームラン、三番井浦選手が中堅を越える強烈なライナーでホームラン、四番中村(建)選手が技ありの中堅前シングルヒットを放つも反撃はここまで。16-2で三球会が快勝を収めた。

(記事：奈多クラブ 今林 卓也、写真：今林 祐将、住田 嵩浩)



ソルトベイスターズ先発の江良投手。



三苦三球会先発の鮎川投手



力強いスイング、ソルトベイスターズ一番・新郷選手。



三球会・鮎川投手VSソルトベイスターズ三番・井浦選手。



二回途中からリリーフ ソルトベイスターズ・酒井投手。



ソルトベイスターズ 酒井投手VS三球会 六番・浜口選手。



4安打完投勝利の三球会・鮎川投手。

青松園A 単独優勝を阻むフェニックス打線爆発！

奈多フェニックス（8勝2敗） 3 1 1 2 0 7 今林（勇）○—吉田

奈多サンデーズ（8勝2敗） 1 2 0 0 2 5 塚本●—川原

HR：望月（奈多フ）柴田（奈多サ） 3 BH：実延（彰）（奈多フ） 2 BH：西藤、今林英（奈多フ）

盗塁：野々下（奈多サ）

一回表、奈多フェニックス先頭の望月選手がプレイボール直後の初球をライトスタンドへ豪快に運び、開始早々先制点を挙げる。さらに2四球と三番今林（勇）選手のバントヒットで無死満塁とチャンスを広げると、五番吉田選手がセンター前へ2点適時打を打ち試合の流れを一気に引き寄せる。しかし奈多サンデーズはその後のピンチを塚本投手の粘りのピッチングと内野陣の好守で追加点を許さず。一回裏、サンデーズは死球の二番柴田選手を二塁まで進め、四番近藤選手がライト前にしぶとく落とす適時打を打ち1点を返し、相手に傾きかけた流れを簡単には渡さない。しかし二回表奈多フェニックスは、先頭の八番実延（彰）選手が三塁打でチャンスを演出。これを一番望月選手がレフトへ運んで1点を追加する。二回裏、サンデーズは一死から七番宮口選手がライト前で出塁すると、二死から九番川原選手のレフトへの痛烈な当たりをレフトが逸らしてしまい川原選手までホームまで帰ってきて2点を奪い返す。1点差とされたフェニックスは三回表に実延選手の犠飛、四回表には四番西藤選手の適時二塁打とエラーで追加点を挙げる。またこの回五番の吉田選手はあわや本塁打かと思わせる特大の飛球を放つも惜しくもファールグラウンドに消えていってしまう。サンデーズは4点を追う最終回に二番柴田選手がレフト線へ痛烈な打球を打ち、ボールが外野の後方へ転がっているあいだにそのまま本塁へ生還する。さらに相手の守備の乱れから1点を追加するも反撃はここまで。力強いバッティングが目立ち、両チームのレベルの高さを感じさせられる一戦は、僅かな差で奈多フェニックスに軍配が上がった。これで両チームとも8勝2敗となりプレーオフ進出が決まった。（記事・写真：ブルーマーリンズ 江頭 秀一）



奈多フェニックス先発の今林勇太投手。



奈多サンデーズ先発の塚本浩士投手。



先頭打者HRを放ったフェニックス一番望月選手。



ファールフライに果敢に挑むサンデーズ野々下一塁手。



痛烈な一塁ゴロを好捕するフェニックス香山一塁手。



セカンド後方のフライにあと一步届かず丹羽二塁手。



二回裏、ホームベースを狙うサンデーズ九番川原選手。



活躍したフェニックス西藤選手（左）、今林（勇）選手（中）、望月選手（右）。

奈多グラウンド 今季最終戦！

三苦ホーネッツ（8勝2敗） 2 2 2 3 1 1 0 平川○、矢野一広木

塩浜ジャガーズ（2勝8敗） 0 0 2 2 1 5 立石●一猪野

HR：西村（三苦ホ） 2BH：佐藤、西村、平川（三苦ホ） 石松2、猪野（塩浜ジ）

一回表、三苦ホーネッツは一死一塁から三番西村選手の打った瞬間それと分かる特大の右翼への本塁打で2点を先制すると直後の一回裏、塩浜ジャガーズ二番竹尾選手の放った打球は二遊間に高く跳ね、内野安打となるかと思われたがこれを三苦ホーネッツ川原二塁手がショートバウンドで捕球しすぐさま一塁に送球。難しいプレーを難なくアウトにしてみせ、流れを渡さない。序盤の攻防で三苦ホーネッツが流れを掴んだか、毎イニングの得点でジャガーズを圧倒した。この試合でホーネッツは8勝2敗となり、プレーオフ進出を決めた。（記事・写真：雁の巣ライナース 明瀬 旭）



塩浜ジャガーズ先発の立石投手。



三苦ホーネッツ先発の平川投手。



一回表、先制の2ランを放つホーネッツ三番西村選手。



三回裏、二本目の二塁打を放つジャガーズ三番石松選手。



四回裏、適時打を放つジャガーズ一番内田選手。



四回裏3点目のホームを踏むジャガーズ吉田選手。



本日のヒーロー！

先制2ランを放った西村選手（左）先発投手の平川投手（中）好守が光った川原選手（右）。